

清水ひろし

民主党・市民の会

からの手紙



保育施設・制度の充実策を提言！

～第 3 回定例議会 決算特別委員会～



会派を代表して、締め括り総括質疑に立つ

9/22（月）から始まった決算に関する特別委員会にて、昨年度平成 19 年度の決算審議がなされました。

質疑の中で、保育施設、保育ママ制度の充実を提言いたしました。（裏面に詳細）

また、ペット火葬場・靈園設置に関して全く法整備がなされていないことを指摘したうえで、ルールづくりを検討することを訴え、あわせて区内再開発の総括、区内施設等でのエスカレーター事故防止の徹底を求めました。

なお、昨年度決算は民主党・市民の会を含む賛成多数で認定されました。

法の未整備！ ペット火葬場・靈園設置のルールづくりを要請

現在、ペットの火葬場・靈園に関する法律は何もありません。人間の火葬場・靈園の設置には、墓地埋葬法により都道府県知事の認可が必要となっています。しかし、ペットの場合は届け出もなく、どこに設置をしても構わないため、家の隣に突然建設がされる可能性もあります。また、移動火葬車についても法の整備は全くありません。

ペットの数が増えているなかにあって、住環境がしっかりと守られるよう、一定のルールづくりを行っておくことの必要性を訴えました。

西川区長も共通の認識を有しており、研究を進めていく旨の答弁がありました。

またあわせて、区の便利帳や HP に「動物」の項目を設け、分かりやすくすることも要望しました。

民主党・市民の会 清水ひろし
〒116-0013 荒川区西日暮里 2-20-1-1201
TEL/FAX 03-3801-6325
E-mail shimizu-hiroshi@nifty.com

西川区長へ予算要望

民主党・市民の会は、平成21年度の予算編成にあたり50を超える項目の予算要望を行いました。

今後も西川区長とともに、区民が「納得・満足の実感できる荒川区」に向けて、取組んで参ります。



仲間とともに、街頭活動中！

民主党・市民の会の仲間である、木村たけつか総支部長、中村ゆき政策委員とともに、荒川区内各地で街頭演説を行い、区政報告を行っております。

左から本人、木村たけつか総支部長、中村ゆき政策委員、滝口学区議



決算委員会の質疑より

質問 保育園等に入ることが出来ない待機児童がここ数年、年度途中に100名を超える現状が改善されていない。今後、保育園の設置は考えているか？

答弁 認可保育園は、南千住・日暮里地区など待機児童が多い地域については適地があれば、と考えている。認証保育園についても、都の基準の見直し、区の推薦基準の方針を定めたうえで誘致していきたいと考えている。

質問 保育ママが児童を預かる際に、9.9m²以上の専用部屋が必要という要件がある。昨年末、政府の規制改革会議が保育施設最低基準（3.3m²/児童1人）について、科学的根拠はないと発表した。今までの概念に囚われず、区として施設基準の検討をしてはどうか？

答弁 保育所の最低基準については60年間見直しがされていない。区としても参考にして検討していく必要があると認識している。

質問 保育ママ増員のため、資格を有している方の意識調査や、空いているマンションの一室や商店街の店舗を区が借上げ、ミニ保育園のような形態の保育ママ事業を実施する（豊島区では実施）など、メニューを増やすしていくことが必要ではないか？

答弁 保育施設の整備は喫緊の課題だと認識している。どのようなかたちをとれば保育ママを増やすことが出来るのか、研究していくことが必要だと認識している。

* 保育ママ（家庭福祉員）制度：一定の保育の資格を持ち、自治体が認定した人が、その自宅において児童を預かる制度。荒川区は現在26名の保育ママが81人の児童を保育している。

清水ひろし（33歳 S50（1975）年5/7日生 卯年 A型 おうし座） 現職最年少荒川区議
寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。現在は「民主党・市民の会」政務調査会長、福祉・区民生活委員、震災対策・危機管理調査特別委員理事、議運委員として活動中。